

子ども読書支援センターニュース No.142

2016.4.1

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成28年4月5日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

【3月のおはなし会で使った本】

『もちもちともだち』 すとうあさえ/脚本 山口マオ/絵 童心社 2015

『きんぎょがにげた』 五味太郎/作 福音館書店 1984

『きゅっきゅっきゅっ』 林明子/さく 福音館書店 1986

『アリのおでかけ』 西村敏雄/さく 白泉社 2012

『でんしゃでかえろう』 間瀬なおたか/作・絵 チャイルド本社 2005

【「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）関連行事】

★展示「読み継がれる石井桃子の絵本・児童書・翻訳本」

○期間：平成28年4月1日（金）～平成28年5月29日（日）

★ギャラリートーク「石井桃子の本の魅力」

○日時：平成28年4月24日（日）14：00～14：30 ○会場：山口県立山口図書館 こどもとしょじつ

○講師：中村 佳恵さん（「ぶどうの木」代表） ○内容：石井桃子の作品解説、人物紹介等

○対象：一般（申込不要）

★「かがくであ・そ・ぼ！～ロボット教室～」

○日時：平成28年4月29日（金・祝日）13：30～15：30 ○会場：山口県立山口図書館 第1研修室

○講師：漁 剛志さん（県立山口博物館主任） ○内容：教育用ロボットをプログラミングして思い通りに動かす

○対象：小学生（要申込み・3年生以下の場合は保護者同伴） ○定員：15名（先着順）

★春のスペシャルおはなし会

○日時：平成28年5月8日（日）11：00～11：40 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○実演：「エブパネ」のみなさん ○内容：エブロンシアター・パネルシアター等

○対象：幼児（3歳児～5歳児・要申込み） ○定員：30名程度（先着順）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『やだやだベティ』 スティーブ・アントニー/作・絵 平田明子/訳 鈴木出版 2016.1 ¥1,600

お腹がぺっこぺこのゴリラの女の子ベティが、バナナを発見。でも、皮がむけない。手でも歯でも足でも出来なくて、「えーん、えーん」と大泣き。心配した鳥のオオハシ君が、こうだよと親切にむいてみせたというのに、ベティは自分がしたかったと、前よりも大声で泣いて…。何か起きるたび駄々をこね、大騒ぎする姿が何とも可笑しくキュートな、イギリスの絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『ごはんのじかん』 レベッカ・コップ/ぶん・え おーなり由子/訳 ポプラ社 2016.2 ¥1,300

「ごはんよー」というママの声。お昼ごはんの時間、お絵かきで忙しい女の子は、お腹がすいていないけれど、しぶしぶ食卓についた。座っているだけで、ごはんは一向に減らない。するとテーブルの下から、ワニや熊、狼の坊やが現れて、ちょうだいと言って…。夢中になっている時、ごはんは後回し。誰もが覚えのある経験をユーモアを交えて描いたイギリスの絵本。

『ブルくんのだいじなひ』 キャンデス・フレミング/さく エリック・ローマン/え 斉藤洋/やく 講談社 2016.1 ¥1,500

今日はブルドーザーのブル君の大事な日。うきうきわくわく。元気いっぱい工事現場を駆け抜けた。でも、楽しそうなのは自分だけみたい。パワーショベルやロード・ローラー達は、皆何やら忙しそうにしている、がっかり。ところが、作業終了のホイッスルが鳴ると、そこにはクレーン車に吊られた巨大なケーキが…。様々な働く自動車が登場する、お誕生日絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『とんでもない』 鈴木りたけ/作・絵 アリス館 2016.1 ¥1,500

僕は普通の子ども。僕にしかないすごい所なんて見つからない。それに比べて、サイの鎧のような立派な皮は、かっこよくて羨ましいな。ところがサイは困った表情。皮が重くて大変で、身軽に跳ね回れる兔が羨ましいって。ところが兔もとんでもないと言い出して…。自分に無いものはよく見えるけど、あったらあったでいろいろ大変。動物達の悩みをユーモラスに描く。

<絵本-小学校低学年から>

『みんながらばー!はしれはまかせ』 村中李衣/文 しるぺこり/絵 新日本出版社 2016.1 ¥1,500

電気エネルギーで走る電車のモーターよりも、馬力のあるディーゼルターボエンジンで、大阪と鳥取の間を走っていた「特急はまかせ」。自分がペしゃんこに潰され、元の鉄にされるかもしれないと知り、眠れぬ日々を過ごす、海を渡り、ミャンマーへ行くことになって…。異国の地で活躍することになった列車の姿を擬人化して描く。「みんながらばー」はミャンマーの言葉で「こんにちわ」。

<絵本-小学校中学年から>

『北をめざして 動物たちの大旅行』 ニック ドーソン/さく パトリック ベンソン/え いだてつじ/やく 福音館書店 2016.1 ¥1,600

地球の1番北にある北極。冬の北極は真っ暗で、雪と氷に閉ざされている。けれど春になって、太陽が顔を出すと、大地も海も生

き物でいっぱいになる。世界中からたくさんの動物が豊かな自然を求めて、北極を目指し集まってくるのだ…。極地の驚くべき豊かさ、自然の恵みを実感する、美しい科学絵本。巻末に、記者による「命を育む北極と環境問題」の解説付き。

<読み物—低学年から>

『まんげつの夜、どかんねこのあしがいっぽん』 朽木祥/作 片岡まみこ/絵 小学館 2016.1 ¥1,400

山でひとりで暮らす猫のノネコ。いつも御馳走をたっぷりこしらえるが、だれも訪ねて来ず、一人でたいらげ、いつのまにか狸みたいになっちゃった。とうとう寂しくて山を降りたところ、犬に追い回され、逃げこんだ土管にはまって抜けなくなる。夜になると、土管のまわりには猫が集まり、満月の夜の集いが始まった。土管にはまったままのノネコは…? 児童文学作家である著者の最新物語絵本。

<読み物—中学年から>

『妖怪一家九十九さん 遊園地の妖怪一家』 富安陽子/作 山村浩二/絵 理論社 2016.2 ¥1,300

市役所地域共生課の野中さんと共に夜の遊園地にやってきた九十九一家の7人。怪しいやつがらがうろついているという目撃情報をもとに、二人一組になって妖怪調査に動き出す。真相解明に果たはすなのに、おじいちゃんとおばあちゃん、マアくんの3人が迷子に…。巨大団地に人間たちと一緒に暮らすことになった、妖怪一家九十九さんシリーズ第6弾。

<読み物—高学年から>

『べんり屋、寺岡の春。』 中山聖子/作 文研出版 2016.1 ¥1,300

尾道で便利屋を営む寺岡家。今回の依頼は、小5の美舟のクラスメート筒井君のうちからで、庭に亀の池を造って欲しいとのこと。力仕事担当の、アルバイトのカズ君は、福祉大学の受験が終わって、早速この仕事に取りかかる。この池が完成する頃には、カズ君は広島に行ってしまうと、美舟は寂しさがつのる。「べんり屋、寺岡」シリーズ第4作目。著者は宇部市在住。

<読み物—中学生から>

『樺を、君に。』 蓮見恭子/著 光文社 2015.2 ¥1,500

瑞希の美しい走りに魅せられ、高校で駅伝をやらせようとして張り切っていた歩。初心者には受け付けないという港ヶ丘高校陸上部に根性で入部し、全国を狙う部員たちとの人間関係も持ち前の明るさで乗り越え、記録を伸ばし始めた歩の前に憧れの瑞希が…。しかし、彼女は複雑な問題を抱え、陸上部から離れていた。門司を舞台に、関門海峡を見ながら走る女子高生のさわやかな物語。

『エレナーとパーク』 レインボー・ローウェル/著 三辺律子/訳 辰巳出版 2016.2 ¥1,900

スクールバスで立ち往生する転校生のエレナーをしぶしぶ隣に座らせたパーク。大柄で赤毛の冴えない彼女がいつの間にか気になり始め…。エレナーとパークの思いが交互に語られる。80年代のネブラスカ州を舞台にした高校生初の初々しい恋の物語。2011年、大人向けの小説でデビューし、2013年発表の本作品でポストングローブ・ホーンブック賞受賞。映画化が進行中。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『家をせおって歩く』 村上慧/作 福音館書店 2016.3 ¥667

作者の村上慧氏は武蔵野美術大学卒業のアーティスト。縦1.2m横0.8m高さ1.5mの大きさの家を発泡スチロールで作り、かたつむりのようにその家をかたついで東京を出発。2014年4月から1年間かけて、東北、近畿、大分まで移動。家を置かせてもらった場所をすべて記録した写真絵本。「じぶんで作るちいさな村上さんの家」の付録付き。月刊「たくさんのふしぎ」372号。

『はたらくじどう車』 元浦年康/監修 あかね書房 2016.1 ¥5,000

救急車、パトロールカー、ミキサー車などのおなじみの車から、給水車、農作業や林業の車まで、多くの働く車を写真やイラストと共に紹介。高さや長さがわかるように工夫された見開きページや、宇部興産専用道路を走る、ダブルストレーラーの紹介も有り。長年乗り物写真を手がけてきた写真家によるA4版の大型写真図鑑。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『アンリ・ルソー』 ミシェル・マーケル/さく アマンダ・ホール/え 志多田静/やく 六耀社 2015.12 ¥1,400

作者の村上慧氏は武蔵野美術大学卒業のアーティスト。縦1.2m横0.8m高さ1.5mの大きさの家を発泡スチロールで作り、かたつむりのようにその家をかたついで東京を出発。2014年4月から1年間かけて、東北、近畿、大分まで移動。家を置かせてもらった場所をすべて記録した写真絵本。「じぶんで作るちいさな村上さんの家」の付録付き。月刊「たくさんのふしぎ」372号。

<ノンフィクション—中学生から>

『16歳の語り部』 雁部那由多、津田穂乃果、相澤朱音/語り部 ポプラ社 2016.1 ¥1,200

東日本大震災当時、東松島市立大曲小学校に通う小学5年生だった3人が“あの日”を語る。なぜ語り部になったのか、自分たちの見たこと、考えたこと、伝えたいことを、16歳になった彼らにしか語れない言葉で語る。東京都の高校2年生の震災ボランティア体験や自分の娘を亡くした元・宮城県中学校教師の言葉も掲載。

【県内の動き】

★児童文学わいわい講座

- 日時：平成28年4月9日(土) 10:00～12:00 ○内容：絵本・児童文学について、わいわい楽しく語り合う
- 会場：山陽小野田市立中央図書館 2階第1会議室 ○講師：村中 李衣氏(児童文学作家) ○定員：約20名
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

★読みきかせ絵本を楽しむ会～「読み聞かせ」はじめませんか？～

- 日時：平成28年4月14日(木) 10:00～12:00 ○対象：絵本の読み聞かせ活動に関心のある大人(初心者向き)
- 会場：山陽小野田市立中央図書館 2階第1会議室 ○定員：15名(要申込み)
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

★『マレットファン夢のたねまき』(村中李衣著)出版記念～遊びながら学び育つ現場とは？～

- 日時：平成28年4月23日(土) 13:00～15:00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階視聴覚ホール
- 対象：大人 ○定員：50名(要申込み)
- 持参物：「人生が変わるような一冊」「おすすめの一冊」「大好きな一冊」があれば持参
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

※子どもの本や読書についてイベント情報をお寄せください。